

白河

広報

7

2012.7.1 No.80



陽はまた昇るプロジェクト

さあ、ポロシャツを着て、明日の白河へ

しらかわ「前進」宣言

■「前進しらかわ」ポロシャツ販売中!!

白河商工会議所青年部による「陽はまた昇るプロジェクト」。
今年は、ポロシャツ販売の売上金の一部が小峰城城郭復元基金に充てられます。料金は2,500円(S~LL)・2,700円(3L~5L)で、色は黒のみ。9月30日(日)までの限定販売です。

©問い合わせ先 白河商工会議所青年部 ☎ 3101

パブリックコメント

市民の皆さんからのご意見を募集します！

誰でも利用しやすく親しみやすい市民文化会館の建設を目指す、市民文化会館基本設計に関する皆さんのご意見を募集します。

◎意見を提出できる方

▷市内に住所を有する方または市内に勤務・通学している方 ▷市内に事務所を有する個人または法人その他の団体

◎意見提出期間

7月1日(日)～31日(火)

◎提出方法

本庁舎・各庁舎に基本設計概要書と意見箱を設置していますので、ご意見をお寄せください。なお、市ホームページでも同概要書を掲載していますので、郵便・FAX・Eメールで提出していただけます。

※設計図書は、本庁舎まちづくり推進課で閲覧できます。

◎問い合わせ先

本庁舎まちづくり推進課 ☎1111 内2744 / 〒961-8602 白河市八幡小路7-1 / Eメール machi@shirakawa.fukushima.jp

コンセプトⅣ
創出×教育×交流
白河のまちなみに調和するよ
まはるに親しみやすいシンガポール

白河のまちなみに調和するよう、外周部の高さを抑えた建物とします。
白河地域の風景や自然を感じることができる設計とします。
省エネルギーや省工ネルギーに関する設備を導入し、地球環境に配慮した施設とします。

コンセプトⅢ
創出×教育×交流
まはるに日常的な賑わいを創出

施設を東西に貫くモール状の通り抜け空間「カギガタモール」に面して、イベント活用ができる中庭やラウンジ、一般開放が可能な茶屋や練習室などを配置します。
ホールでの催し以外でも賑わいが生まれる施設とし、誰もが利用しやすい、人々が集まる交流拠点の場とします。

コンセプトⅡ
創出×教育×交流
人と芸術が共創する場所

コンサート・演劇・講演会・式典や市民の発表会など、様々な催しを行うことができる文化施設とします。
大ホールは、客席が舞台を取り囲む形状とし、舞台と客席の一体感を醸成するホールとします。
小ホールは、移動可能な客席とすることで、様々な運用が可能なホールとします。

コンセプトⅠ
創出×教育×交流
親しみ・学び・触れ合う場所

松平定信公の「士民共楽」の理念に基づき、誰もが気軽に集い、良質な芸術文化に触れることができる施設とします。
バリアフリーに配慮し、人に優しい施設とします。



市民文化会館
イメージ

市民文化会館建設に向けた基本設計がまとまりました

市民の「絆」が深まる文化施設へ！

敷地概要

建築場所	会津町1-17ほか (市立図書館西側)
敷地面積	約11,300㎡
用途区域	商業地域
許容積率	300%
許容建蔽率	80%

施設概要

構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
規模	地下1階、地上3階
建築面積	約6,200㎡
延床面積	約9,750㎡
席数	大ホール1,100席(うち多目的鑑賞室8席、車椅子スペース6席)、小ホール320席(うち多目的鑑賞室3席、車椅子スペース2席)

仮称 白河市民文化会館

人・文化を育てる 発信拠点に期待

待ちに待った白河市民文化会館。これ以上良い立地条件はないだろうと思われる場所への建設。県内屈指のホールとなることでしょう。
内部は木材を多く使用し、温かみがあり、響きの美しさに期待したいです。長い間、「白河には文化が育たない」と言われてきました。しかし、大正ロマンを思わせる白河駅舎、小峰城、図書館とともに文化の発信拠点となることと思います。
人、文化との出会いに、今からワクワクしています。



浅川なおみさん
白河文化団体連絡協議会

「市民の皆さんに望まれる新しい市民文化会館について」意見をまとめました！

人々の回遊性を考慮した魅力的な施設

新たな文化拠点の創出を目指し、少子高齢・人口減少社会や財政バランスの重要性なども念頭に置き、委員会に参加しました。ホールの考え方については十人十色でしたが、その一つの答えができました。考えられる音響設計等の英知が集められています。普段の人々の回遊性も考慮されていて、魅力的な施設になることを確信しています。
なお、今後の取り組みでの目標視点は、優れた経営・高稼働率化・広域運用などにあると思います。将来を見据えて、市民の皆さんで育てていきましょう。



川口敏さん
市民文化会館建設検討委員会
公募委員

平成27年度の開館を目指す市民文化会館の基本設計がまとまりました。市では、この設計図書を公開し、市民の皆さんのご意見を募集して、より良い市民文化会館建設に向けて取り組んでいきます。



■小ホールイメージ

小ホール 平面図2

移動可能な客席とすることで、利用形態によって平土間形式・段床形式・劇場形式に転換し、多目的な利用が可能なホールとします。

舞台のレベルを変えずに、座席前列を下げることでステージを形成。舞台と楽屋は段差なしで行き来することができます。

自由な空間で表現する喜びを皆さんに

小ホールは、市民の皆さんの発表・創作の場として、幅広い期待が寄せられています。そのため、様々な工夫が設けられています。

枠にとらわれない、自由なこの空間で表現する喜びを子どもたちをはじめ、市民の皆さんが分かち合える場となり、白河発の新しい文化が創造されることを期待しています。



市民文化会館建設委員会 佐藤 美穂さん

施設配置計画 日々の賑わいを醸し出す交流の場

東側に開いたメインエントランスから敷地西側の広場をつなぐ「カギガタモール」は、2つのホール、楽屋、練習場などの各部屋に面することで多様なたまり空間をつくり、日々の賑わいを創出します。

両ホールを背中合わせの構成として、楽屋を一体的に整備します。また、モールから楽屋へ出入りができる配置とすることで、ホールを利用していない時間帯など、一般開放も可能とします。

限られた敷地の中でゆとりある豊かな空間づくりを行うため、モールの中

央エリアに中庭を設け、サロンコンサートなどのイベントに利用できます。中庭は、周囲の強風を遮り、外光を取り込みます。また、小ホールの2階ホワイエ（ロビー）ともつながり、施設全体の回遊性を生み出します。



■大ホールイメージ

大ホール 平面図1

音楽を主とした多機能ホールとします。音響反射板を取り付けることで、より多くの席に高質な音を届けます。

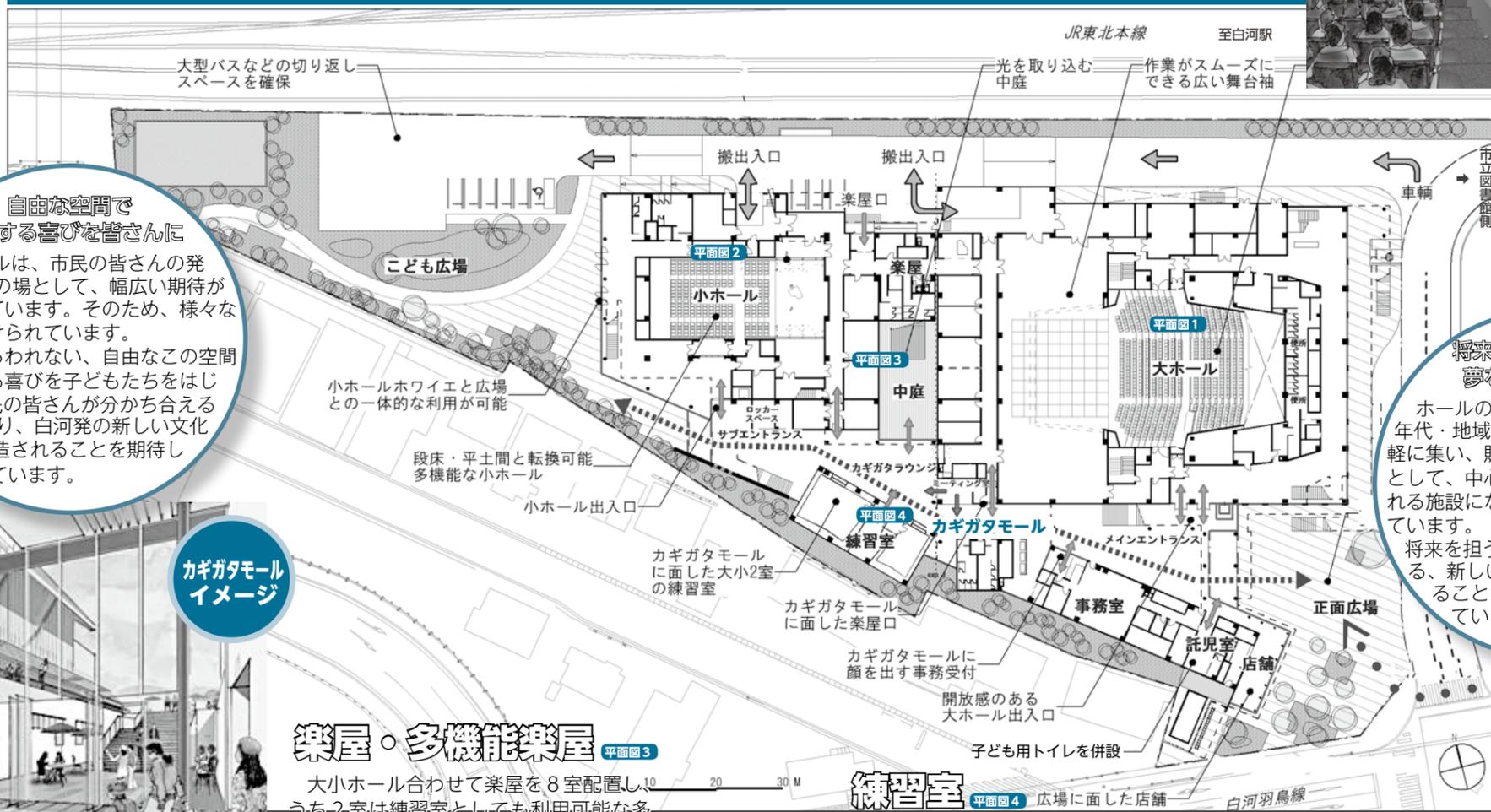
舞台を取り囲むように客席を配置する「もみあげ式」により、舞台と客席の一体感を演出します。

将来の子どもたちが夢を描ける施設を！

ホールの利用以外でも、幅広い年代・地域の皆さんが、普段から気軽に集い、賑わいが生まれる交流の場として、中心市街地の活性化に生かされる施設になるのではないかと期待しています。将来を担う子どもたちが夢を描ける、新しい市民文化会館ができることを今から心待ちにしています。



市民文化会館建設検討委員会 佐藤 大造さん



カギガタモールイメージ



楽屋・多機能楽屋 平面図3

大小ホール合わせて楽屋を8室配置し、うち2室は練習室としても利用可能な多機能楽屋としています。

ホールを利用していない時間帯には、楽屋の一部を打ち合わせや文化活動のために一般開放します。

練習室 平面図4

「カギガタモール」に面してスタジオ機能を備えた2つの練習室を配置します。ダンスやバンドの練習など、様々な活動の様子をモールから垣間見ることができます。

脱タバコで脱メタボ！～メタバコさんにさようなら～

平成23年度の特定保健指導では、9人が禁煙にチャレンジし、6人が成功しました。そのうちの2人に禁煙体験談をお聞きました。

※メタバコさんとはメタボリックシンドロームで喫煙している(たばこを吸っている)人のことです。

円谷文男さん(田島)



- ①喫煙年数
・45年
- ②禁煙のきっかけ
・表郷クリニックで勧められた
- ③禁煙方法
・禁煙治療
- ④禁煙後の変化
・タバコの煙がどれだけ人に迷惑か分かった
・一時的に体重が増えた
- ⑤今後の目標
・禁煙の継続
・暴飲暴食を抑えた健康な体づくり

大島光男さん(白坂)



- ①喫煙年数
・41年
- ②禁煙のきっかけ
・病院で「このままの生活では病気にかかって苦しむ」と言われた
- ③禁煙方法
・自分の強い意思でたばこを吸わない
- ④禁煙後の変化
・匂いに敏感になった
- ⑤今後の目標
・禁煙の継続
・腹八分目の食事とウォーキングの継続

喫煙は、血管を傷つけるだけでなく、糖代謝、脂質代謝へも影響を及ぼし、動脈硬化を促進させて、メタボリックシンドロームを引き起こすリスクを高めます。

メタバコさんは、脳梗塞や虚血性心疾患のリスクが著しく高くなり、「スーパーハイリスク群」と考えられます。

禁煙すると・・・

内臓脂肪が削減され、血液サラサラで血管が若返ります。

脱メタボにつながります！

■平成24年度特定保健指導が始まります

特定健診の結果、メタボリックシンドロームの該当、予備群該当の方を対象に、今年も特定保健指導を実施します(対象の方には個別に通知します)。この機会に、メタボ解消、禁煙に挑戦してみませんか。
☎本庁舎健康増進課 ☎2112

■特定健診を受診しましょう

7月2日(月)から10月31日(水)まで、市内および西白河郡内の医療機関で個別検診が受診できます。

まだ、特定健診を受けていない対象の方(4月1日現在国保加入の40歳から74歳まで)は、ぜひこの機会に受診しましょう。

☎本庁舎国保年金課 ☎1111 内2176

■医師による糖尿病予防講演会を開催します

- 日 時 7月24日(水) / 午前10時から(受付: 午前9時30分～9時50分)
- 会 場 中央保健センター(北中川原)
- 対 象 平成24年度特定健診の結果、①空腹時血糖110mg/dl以上125mg/dl以下またはHbA1c5.2%以上6.0%以下の方、②空腹時血糖95mg/dl以上で、家族歴に糖尿病・心血管疾患・脳血管疾患のある方、③糖尿病予防に関心のある方
- 講 師 表郷クリニック 村松康成院長
- 持参品 特定健診結果(お持ちの方のみ)、筆記用具
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎健康増進課 ☎2112

◎特定保健指導で脱メタボ

平成23年度

「特定健診・特定保健指導」の実施状況をお知らせします！

今月号では、昨年度の特定健康診査(以下、特定健診)の結果、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)該当、予備群該当の方を対象に行った特定保健指導「メタボ予防教室」の実施状況をお知らせします。

☎本庁舎健康増進課 ☎2112

■特定健診・特定保健指導の実施状況

(平成23年度の数値は暫定値)

《特定健診》

目標受診率 60%

	平成22年度	平成23年度
対象者数	10,935人	11,003人
受診者数	4,019人	4,276人
受診率	36.8%	38.9%

平成22年度と比べると、受診率が2.1ポイント伸びました。目標値には届きませんでしたが、毎年着実に伸びています。

《特定保健指導》

目標実施率 40%

	平成22年度	平成23年度
対象者数	551人	595人
実施者数	231人	273人
実施率	41.9%	45.9%

平成22年度と比べると、実施率が伸びています。平成23年度は、特定保健指導の対象となった方に、直接特定健診の結果を手渡して、生活習慣改善を呼び掛けました。特定保健指導に参加した273人のうち204人の方が終了しています。終了した方の56.4%は体重・腹囲が減少しました。

※特定保健指導(メタボ予防教室)は、自分なりの目標を設定し、その目標達成に向けて、半年間、生活習慣の改善に取り組む教室です。

ここがポイント！

■参加者の皆さんは次の生活習慣を改善しました

◎食事の量を減らす

特に夕食の量がカギとなります！
夕食後は寝るだけです。食べ過ぎると、寝ている間に内臓脂肪がついてしまいます。

◎主食(ごはん・パン)の量を減らす

◎野菜を多く食べる

食事の最初に野菜を食べると良いことがたくさんあります！
◇満腹感が得られるので、食事量が減ります。
◇糖・コレステロールの吸収がゆっくりになります。
◇よく噛むので、早食いが改善されます。

◎体重を毎日測る

いつの間にか体重が増えていることはありませんか？
毎日体重を測ることで、前日の生活を振り返ることができます。

よくある質問Q&A

- Q1、市内に住民票を残したまま、県外等に生活住居がある場合（県外に進学している学生等）は対象になりますか？
 ⇨ 基準日（※1）時点に本市に生活住居（※2）があった方が対象です。本市に住民票があったとしても、県外等に生活住居があった方は対象とはなりません。
- Q2、平成23年3月12日以降に本市に転入してきた場合は対象になりますか？
 ⇨ 基準日の翌日以降に転入された方は、対象とはなりません。
- Q3、原発事故直前に旅行や出張で本市を訪れ、事故による公共交通機関の影響で、やむを得ず数日間滞在した場合は対象になりますか？
 ⇨ 旅行、出張、帰省、親戚宅への訪問（冠婚葬祭等）といった事情で一時的に本市に滞在されていた方は対象とはなりません。
- Q4、会社が宿泊施設等を準備し、長期出張（例えば60日間）で滞在した場合は対象になりますか？
 ⇨ 住民基本台帳法で、滞在が1年未満の場合は、一時的な滞在とみなされますので対象とはなりません。
- Q5、基準日時点で本市以外に生活住居があったものの、里帰り出産のため、本市の実家に帰省していた場合は対象になりますか？
 ⇨ 基準日時点で本市に生活住居があった方が対象です。里帰り出産での帰省は一時的な滞在となるため対象とはなりません。
- Q6、基準日以降に死亡した場合、対象になりますか？
 ⇨ 基準日時点で本市に生活住居があった方であれば、亡くなられた場合も対象になります。この場合、世帯の代表の方が申請をしてください。
 なお、申請者である世帯主の方が亡くなられた場合は、その世帯の新世帯主の方等が申請者となります。
 ※1=平成23年3月11日、※2=生活の本拠としての住居

【コールセンターの開設期間および時間】

◎問い合わせ・相談は、コールセンターまで

お気軽にお問い合わせください



◆コールセンター
 給付金相談専用ダイヤル
 ☎2400（直通）

- 第1期
 7月31日（火）まで（祝日は除く）
 ▷平日 午前8時30分～午後7時
 ▷土・日 午前9時～午後5時
- 第2期
 8月1日（水）～12月3日（月）（平日のみ）
 ▷午前8時30分～午後5時15分

【窓口の開設期間および時間】

※申請書を郵送せず直接提出する場合の窓口です。

《本庁舎／1階正面玄関ロビー》

- 第1期
 7月2日（月）～7月31日（火）（祝日は除く）
 ▷平日 午前8時30分～午後7時
 ▷土・日 午前9時～午後5時

- 第2期
 8月1日（水）～12月3日（月）（平日のみ）
 ▷午前8時30分～午後5時15分

《表郷・大信・東庁舎》

- 7月2日（月）～12月3日（月）（平日のみ）
 ▷午前8時30分～午後5時15分

《大沼・白坂・小田川・五箇・旗宿・関辺行政センター》

- 7月2日（月）～12月3日（月）（平日のみ）
 ▷午前8時30分～午後5時15分

☎本庁舎放射線対策室 ☎241111 内2605



◎連続掲載／未来へのたすき

給付金の申請受付が始まります！

早い給付は早い申請から

「県南・会津・南会津地域給付金」(以下、給付金)の申請受付が始まります。
 今月号では、給付金の申請に関する手続きの概要をお知らせします。



▲郵送する書類（イメージ）

給付金の対象は、平成23年3月11日（以下、基準日）の原発事故発生時、本市に生活の本拠としての住居があったすべての方で、次の3つに分類されます。

- ① 妊婦 平成23年3月11日～12月31日の間に妊娠されていた方
- ② 子ども 18歳以下であった方（平成4年3月12日～平成23年12月31日生まれの方）
- ③ ①・②以外の方

●給付金の額 ①・②の方は一人当たり10万円、③の方は一人当たり4万円

給付金は全市民が対象

6月下旬に申請に必要な書類を郵送

申請に必要な書類は、6月29日に、対象者の世帯主あてに郵送します。
 ※住民登録されていない方の場合

基準日時点で、本市に生活の本拠としての住居があった方で、住民登録されていなかった方には、申請に必要な書類は郵送されません。お手数ですが、直接市役所の窓口（本庁舎1階正面玄関ロビー）で申請してください。なお、申請には添付書類が必要です。詳しくはコールセンターまでお問い合わせください。

申請の流れ

書類が届いたら、記入例を参考に申請書に必要な事項を記入してください。なお、通帳の写し、母子手帳の写し等の添付が必要です。
 返信用封筒（書類に同封してあります）に必要な書類を入れ、郵送してください。

窓口への提出も可能です。



▲返信用封筒（イメージ）

申請書受領後、2～3週間程度で指定口座へ給付金を振り込みます（申請がないと給付金の給付ができません。申請はお早めにお願います）。

※口座振込が困難な方の場合
 口座がない方、金融機関から著しく離れた場所に住んでいる方のみ、現金での給付が可能です。

給付金の申請期限

給付金の申請期限は、平成24年12月3日（月）まで（消印有効）です。
 期限までに、郵送または窓口で提出されない場合は、「辞退したもの」とみなし、給付を受けられなくなりまのでご注意ください。

Topics

屋外プールの除染

市では、今年の夏の使用に向け、屋外プール（小・中学校、市の施設等）の除染作業を進めています。
 プールおよびプールサイドは、高圧高温水吸引型洗浄機による洗浄、プール周辺は、表土の除去や樹木のせん定等の作業を行っています（作業は場所により異なります）。



▲細かい所は手作業で丁寧に



▲洗浄機でのプールサイドの除染



未来の

たまご

Interview 各部長に聴く！「市の主要事業」

「市民生活部」の主要事業

No.3

「地域と行政がともに支え合うまちづくり」の推進に取り組みます。



Suzuki Nobuyuki 市民生活部長 鈴木延之

組織図

市民生活部	生活環境課	10人
	市民課	13人
	地域支援課	6人
	放射線対策室	9人

市の主要事業を紹介する「未来のたまご」新たな事業(卵)を孵化させ、大きく空に羽ばたかせようとする市政の動きを、各部長のインタビューを通して皆さんにお伝えします。

今年度の市民生活部の主要事業はどんなものですか。

当部の主要事業として、まず「放射線の除染対策事業」と「地域給付金事業」があります。一日でも早く皆さんが安心して生活できるように、除染作業に全力をあげて取り組んでいきます。また、東京電力(株)からの賠償金のほか、県からの給付金を市民の皆さんに迅速に給付するため、手続きを進めています。

次に「集会所・消防屯所の建設」です。これらは、地域コミュニティと地域防災の拠点として重要な施設となりますので、今後面的な整備を行っていきます。東日本大震災を教訓にした「地域防災計画の見直し」にも取り組んでいきます。

さらに、7月9日から、「証明書のコンビニ交付(当面はセブン・イレブンのみ)」を開始します。これからはより便利なサービスを提供できるよう努めていきます。

様々な計画・事業がありますが、成功させるポイントはどこな点ですか。

地域の皆さんと行政が互いに協力し合い、ともに地域づくりを進めていくことが重要です。今後も市民の立場に立った行政を目指し、事業を進めていきます。

今月のお題は、「健康保険のお知らせ」です。

国民健康保険税の税率が決定しました

■平成24年度国保税率

昨年度の税率を据え置きます。

区分	医療分	後期高齢者支援金等分	介護分
均等割	23,000円	5,400円	10,000円
平等割	27,300円	6,700円	2,000円
所得割	8.17%	1.83%	2.50%
資産割	19.92%	5.08%	-

※介護分は、40歳以上65歳未満の方がいる世帯に課税されます。

《課税限度額》

国保税額には、課税限度額が設定されており、次の金額を超えて課税されることはありません。

医療分	後期高齢者支援金等分	介護分	合計
51万円	14万円	12万円	77万円

【問い合わせ先】

- ◇税額・減免など 本庁舎課税課 ☎@1111 内2127
- ◇納付方法など 本庁舎収税課 ☎@1111 内2125
- ◇国保の加入、脱退や給付など 本庁舎国保年金課 ☎@1111 内2173
- ◇各庁舎の窓口
 - ▷税額・減免・納付方法……各庁舎総務課 表郷 ☎@2111 大信 ☎@2111 東 ☎@2111
 - ▷国保の加入、脱退や給付……各庁舎市民福祉課 表郷 ☎@2113 大信 ☎@3974 東 ☎@2113

■東日本大震災で被災された方へ

市では、東日本大震災で被災された方に対し、被災状況に応じて国保税の減免を行っています。減免要件に該当して、まだ減免申請をしていない方は、お早めに申請書を提出してください。減免要件はお問い合わせください。

なお、昨年度減免になった世帯は、継続して減免となりますので、手続きは不要です。

今年度は、4月分から9月分までに相当する国保税の月額算定額が減免の対象となります(ただし、法律に基づき原発事故から避難している場合は、1年間が対象)。

後期高齢者医療制度のお知らせ

■被保険者証更新のお知らせ

75歳以上(一定の障がいがある65歳以上)の方が加入している後期高齢者医療制度の被保険者証の更新時期になりました。現在使用している被保険者証(オレンジ色)の有効期限は7月31日(火)までです。

8月1日(水)から使用する新しい被保険者証(ピンク色)は7月下旬に郵送します。

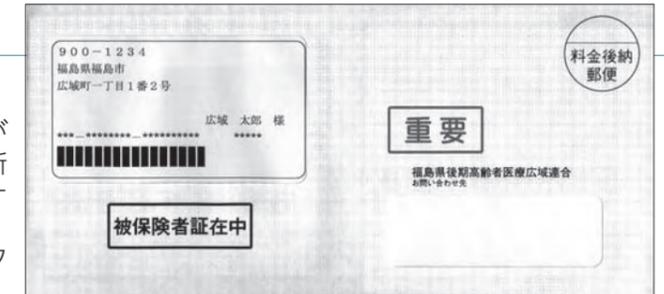
新しい被保険者証は、白い横長の窓開き封筒で送付します。封筒の中には、ピンク色の被保険者証・小冊子・チラシ・カバーの4点が入っています。被保険者証は、ミシン目に沿って切り取って使用してください。

■限度額適用・標準負担額減額認定証更新のお知らせ

入院および外来時の自己負担額と入院時の食事代が軽減される「限度額適用・標準負担額減額認定証」の有効期限は7月31日までです。8月1日から使用するためには、改めて申請が必要です。

なお、認定証の交付対象は住民税非課税世帯の方となります。

【問い合わせ先】本庁舎国保年金課 ☎@1111 内2175



送付する封筒(実物は大きさが異なります)

もしもし。こちら「自治基本条例通信(第15回)」です!

☎本庁舎企画政策課 ☎@1111 内2324

■白河市自治基本条例を考える市民会議活動中!!

6月18日に、第20回白河市自治基本条例を考える市民会議が開催されました。

出張前トークの意見などを踏まえた修正作業を終え、白河市自治基本条例素案(以下、素案)がまとまりました。これで市民会議の活動は終了となります。

今後は、素案を基に条例案を策定していきます。来月号では、素案の概要などについてお伝えする予定です。



市民会議の様子

■市ホームページも充実しています

市ホームページの自治基本条例のページには、会議の資料・会議録や市民会議からのお知らせなど、市民会議や自治基本条例に関する情報が満載です。ぜひご覧ください。

市ホームページ ▶ まちづくり ▶ 自治基本条例関係 ▶ 白河市自治基本条例を考える市民会議



新田祐大選手オリンピック出場壮行会 白河の良さを世界にアピール

ロンドンオリンピック自転車男子トラック競技の日本代表に決定した、白河高校卒業生の新田祐大選手の壮行会が5月28日、市役所で行われました。

新田選手は「白河には山や川があり、自転車を練習する環境としては最高です。この環境と白河の皆さんの温かさがあったからこそ、オリンピックを目指すことができました。金メダルを取って、白河の良さを世界にアピールできるように頑張ります」と力強く話していました。



▲恩師の班自秀雄さん、鈴木市長と握手する新田選手（中央）

沿道緑化フラワーロード事業 沿道に色鮮やかな花が咲く

6月3日から10日にかけて、白河地域5地区で、「沿道緑化フラワーロード事業」の花苗植え付け作業が行われました。作業を行ったのは、昭和町町内会(伊藤満会長)、小田ノ里第一・第二白寿会(鈴木邦彦会長)、住みよい五箇をつくる会(深谷稔代表)、小丸山寿栄会(神林良男代表)、久田野長寿会(菊地隆治代表)が、各主要道路の沿道にマリーゴールドなど4種類の苗15,600本を植栽しました。なお、この事業は各地域でも実施しています。



▲昭和町町内会による植え付け作業の様子

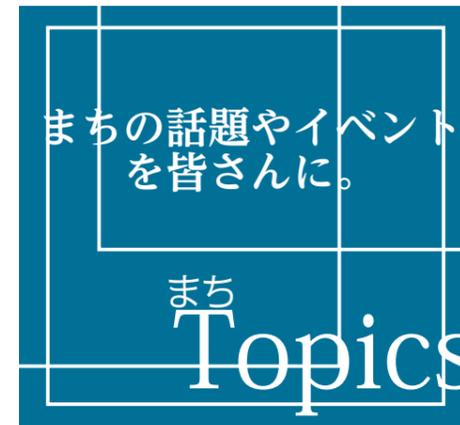
白河の歴史 再発見！ 生まれたまち・白河の史跡に触れる

市では、市内の小学6年生を対象に、小峰城を中心とした市内の史跡について学ぶ「白河の歴史 再発見！」事業を行っています。

児童たちは、文化財課の職員から、小峰城が築城されたときの話や、東日本大震災で崩落した石垣やその修復の経過などの説明を受け、真剣にメモを取っていました。この事業は、市内すべての小学校で11月までに実施され、学習の成果は「壁新聞」にまとめ、市立図書館に掲示する予定です。



▲崩落した石垣の説明を受ける表郷小の児童たち（6月5日）



「工業の森・新白河」B工区 用地造成工事の安全祈願祭、起工式 復興への大きな弾みに

6月7日、本市への進出が決定している三菱ガス化学(株)（東京都、酒井和夫社長）の「工業の森・新白河」B工区における用地造成工事の安全祈願祭、起工式が同工区（豊地）で行われました。

鈴木市長は「白河から全国へ復興の光を発信できる象徴になる」と述べ、佐藤雄平県知事は「今年が復興元年、本県の復興へ向けて大きな弾みにしたい」と話しました。多くの雇用が見込める同社の操業に向けた歩みは、本市のみならず福島県の復興への追い風になると期待されます。

B工区の開発面積は約69.5ha、このうち約31.8haを同社に分譲します。平成26年1月に完成、同年3月に引き渡す予定です。

▲左から酒井社長、小高会長、鈴木市長、佐藤知事



▲B工区完成予想図

都市計画道路「道場小路金勝寺線」開通式 待望の開通、本市の発展に期待

6月9日、都市計画道路「道場小路金勝寺線」の開通式が行われました。

本路線は、中心市街地と国道4号を結ぶ片側一車線の幹線道路で、白河中央スマートICや県南地域の基幹病院である白河厚生総合病院などへのアクセスが容易になります。

式では、鈴木市長が「本道路が多くの方々に利用され、本市の発展につながることを期待したい」と述べ、出席した皆さんとともに開通を祝いました。



▲開通を祝いテープカット

まちひと

話題を写真で紹介!



歴史的建造物の魅力に触れる
第5回白河まちなか歴史景観「蔵ウォーク」
6月2日/年貢町・桜町・旭町ほか



練習の成果を發揮!
東方面隊実践放水競技大会
6月10日/東体育館前駐車場(東釜子)



元気な演奏で交通安全を呼び掛ける
交通安全鼓笛パレード
5月31日/白三小から市役所まで



ふるさと大信を満喫
第30回東京たいしん会総会
5月26日・27日/しらかわ温泉弁天荘(大信下新城)ほか



思いやりの心が育ちますように
「人権の花運動」花の苗贈呈式
5月18日~6月1日/小野田小・関辺小・白二小・白五小(写真・信夫二小)

施設の催し

▶歴史民俗資料館(中田7-1/☎@2310)

- 【利用案内】
- ◆開館時間 午前9時~午後4時
- ◆休館日 毎週月曜日(7月16日(祝)は開館し、翌17日(火)休館)
- ◆入館料 無料
- 【催し案内】
- ◇テーマ展「ゆかりの歌人・俳人」
- 会期 7月22日(日)まで



境の明神芭蕉句碑
拓本「風流の...」
(1778年建立)

◇常設展「白河の歴史と文化」

▶白河集古苑(郭内1-73/☎@5050)

- 【利用案内】
- ◆開館時間 午前9時~午後4時
- ◆休館日 毎週月曜日(7月16日(祝)は開館し、翌17日(火)休館)
- ◆入館料 一般310円(250円)
小中高生100円(80円)
※()は20人以上の団体料金
※毎週土曜日は小中高生無料

【催し案内】

- ◇結城家古文書館
「重要文化財 白河結城家文書と中世の美術」
ミニテーマ展「江戸時代の結城家-結城家のその後-」

- ◇阿部家名品館
「伝来の遺宝と墨跡・文房具」
- 会期 7月8日(日)まで
- 「伝来の遺宝と阿部家歴代」
- 会期 7月12日(木)から



阿部正功
幼稚御覧図

- ▶市民会館(手代町22-1/☎@3718)
- 【催し案内】
- ◇5周年記念白河市民芸能大会
- 日時 7月8日(日)/午前9時~午後4時
- 入場料 無料

- 市民会館☎@3718
- ◇笑って健康いきいき講演会
- 日時 7月14日(土)/午後1時~3時30分
- 入場料 無料
- 本庁舎健康増進課☎@2112
- ◇福島県ジュニアピアノコンクール白河地区大会
- 日時 7月28日(土)/午前9時~午後5時
- 入場料 無料
- ラガタ楽器店☎@6800

- ▶総合運動公園(北中川原30/☎@8971)
- 《スポーツ教室》
受講料を添えて、中央体育館にお申し込みください。電話での受け付けはできません。
- ◇水泳教室
- 日時 7月30日(月)~8月3日(金)計5回/午後5時~6時30分

- 場所 市民プール
- 対象 小学3年~6年生30人(受付順)
- 参加料 3,200円
- 申込期間 7月17日(火)~23日(月)
- ◇少年少女卓球教室
- 日時 8月22日・29日、9月5日・12日・26日 水曜日 計5回/午後7時~9時
- 場所 中央体育館
- 対象 中学生20人(受付順)
- 参加料 1,700円
- 申込期間 7月13日(金)~20日(金)
- 本庁舎生涯学習スポーツ課☎@1111 内2386

- ▶文化センター(中田140/☎@5220)
- 【催し案内】
- ◇ふくしま復興支援映画上映会

- 「ファイナル・ジャッジメント」
- 日時 7月22日(日)/①午前11時~午後1時 ②午後2時~4時
- 入場料 無料
- 永林☎090-1068-4458
- ▶東文化センター(東釜子字狐内47/☎@1131)
- 【催し案内】
- ◇スクロール弦楽合奏団 サマーコンサート
- 日時 7月29日(日)/午後1時30分から
- 入場料 無料
- スクロール弦楽合奏団 江藤☎@3113
- ◇県南のフラチーム大集合
- 「ひがしフラ・カーニバル2012」
- 日時 8月5日(日)/午前10時~午後4時
- 入場料 無料
- NPO法人カルチャーネットワーク(東文化センター内) ☎@1131

ほんこのころろ

あっぱぐち



昼寝の時の枕は、やっぱり座布団だっばい

ありがとう! なすびさんの「継の幟」

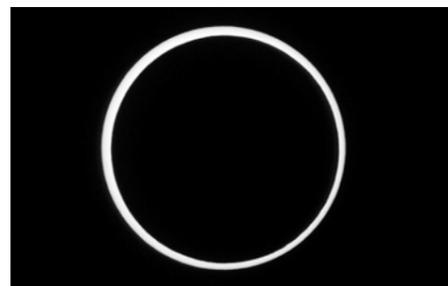


6月7日、市役所に飾られていた「継の幟」を、鈴木副市長からタレント・なすびさんに返還しました。この幟には、なすびさんが福島復興を願い、四国お遍路の旅をした際に、地元の方の応援メッセージが書き込まれています。この幟は県内の自治体に引き継がれていきます。



天文同好会が「金環日食」を撮影

6月8日、天文同好会の小椋栄一さんから鈴木市長に、世紀の天体ショー「金環日食」の写真を手渡しました。同好会は小峰城・いわき市・茨城県水戸市で撮影。市内は曇り空のため観測することができませんでしたが、水戸市ではきれいなリングが観測できました。



白河南中生徒が「白河の活性化のアイデア」を探る

6月19日、白河南中2年1組の総合的な学習の時間に、「白河市を活性化するアイデアを考えよう」について各班で話し合い、発表を行いました。講師となったまちづくりの担当職員は「中学生らしい斬新な意見があり、中心市街地活性化基本計画の参考になりました」と話していました。



今月のありがとう♡

5月29日・6月26日、ダイナム白河店の皆さんが南湖公園周辺の清掃を行いました。ストアマネジャーの小野良之さんは「地域貢献できるように今後も実施していきます」と話しました。



今、まちの気になること しらかわの新しい波

Shirakawa New Wave

今月号から新コーナー「しらかわの新しい波」がスタートします。まちで話題となっている新しいトレンドをレポートします。

Trend 1

Keyword パブリックビューイング

パブリックビューイングとは、スポーツ競技の試合中継を、大型テレビなどを利用して、大勢の人が集まって観戦することです。パブリックビュー実行委員会は、サッカー日本代表戦のパブリックビューイングを、6月8日・12日にマイタウン白河で開催。8日のヨルダン戦には多くの人が詰め掛け、心をひとつに声援を送りました。同実行委員会の照井耕輔さんは「喜びや感動を共有できる空間を作り、地域が震災で失った活力を取り戻したいと思います」と意気込みを語りました。



Trend 2

女性消防団員 Keyword

女性消防団員は全国で増加傾向にあり、今後ますます必要とされる存在。一人暮らしの高齢者宅への防火訪問、応急手当の普及指導やマーチングバンドなどによる広報活動など、女性消防団員は活躍の幅を広げています。白河市消防団発足以来初の女性団員となった深谷弥代子さん（大和田）は、音楽隊に所属し、地域の防火・啓発活動を行います。5月28日に辞令を交付された深谷さんは、「消防団の音楽隊員として、自分にできることを精一杯取り組んでいきたい」と決意を述べました。



Trend 3

Keyword 交通安全教室

車社会の進展により、交通事故が増え、昭和30年代には「交通戦争」と呼ばれました。現在は全国的に交通事故発生件数・死傷者数は減少しているものの、今もなお続いている社会問題には変わりありません。歩行者の交通ルールとマナーの実践から問題を改善したいと考えたのが藤田伸治さん（藤田観光バス）による「交通安全教室」。6月19日、五箇小で同教室が行われ、自転車事故や巻き込み事故の実演を行いました。「子どもたちの悲惨な事故をなくしたい」と藤田さんは微笑みました。



○住所 東釜子字西ノ内1
○電話 ☎3109

学校紹介 白河市立釜子小学校

校長 武藤忠晴

元気いっぱいのあいさつを目指して

本校では、247人の児童が元気一杯に「気持ちのよいあいさつ」ができるように、教職員と児童が一緒になって取り組んでいます。その取り組みの中からいくつかを紹介します。

- 1. 教師によるあいさつの仕方の寸劇発表**
教師が全校集会で、1年生から6年生の児童の役を演じ、ランドセルを背負って舞台上で、「上手なあいさつ」とはどのように行うか演技します。
- 2. あいさつ模範の発表**
各学級の代表児童が全校集会で、「あいさつ模範」を発表し手本を示します。高学年と低学年に分けて年2回行います。5月に行った1回目では、代表児童が大きな声で元気に発表していました。
- 3. 「あいさつ学級目標」を決めて実行**
全クラスで、あいさつの目標を決め、昇降口に掲示します。児童は達成に向けてあいさつを積極的に行い、学期ごとに反省します。
- 4. 児童会各委員会でのあいさつの取り組み**
各委員会で、あいさつについて取り組むことを決め実行しています。例えば、保健委員会は、清掃時のあいさつ、歩き方、会釈の仕方などを低学年の児童に教えています。
- 5. 集団登校時のあいさつ**
学校に到着すると、「なかよしの像」の前に整列し、班長に全員で「ありがとうございます」とお礼を述べて、各教室へ向かいます。



▲教師による寸劇発表

今月号は
「体験活動」のはなし
あよういっく
ホット情報
熱!!
■教育関係のホットな情報を皆さんへ

ふくしまっ子体験活動応援補助事業

県では、子どもたちが屋外でのびのびと活動することができるよう、体験活動を実施する団体に、交通費・体験活動費等を補助します。

- 対象団体
子ども会、スポーツ少年団、PTAなどの社会教育関係団体
- 実施期間
▷夏期間 7月1日(日)～9月30日(日)
▷冬期間 12月1日(土)～平成25年1月31日(木)
- 補助内容
幼児・児童・生徒が5人以上で、日帰りまたは宿泊を伴う体験活動や交流活動を行う団体に、宿泊費と交通費・体験活動費を補助します(夏期間・冬期間それぞれ1団体1回までの補助で、活動場所および宿泊場所は県内とします)。
▷宿泊費(食費を含む)
1人当たり1泊5,000円を上限(7泊まで)
▷交通費・体験活動費
1人当たり2,000円を上限(自家用車利用の場合は交通費の補助はありません)
※申請方法などの詳細は、お問い合わせください。



▲尾瀬自然体験の様子(白五小)
☎本庁舎生涯学習スポーツ課 ☎31111 内2382

りぶらんだより Libran

M 映画上映案内

市立図書館多目的ホールで上映される映画です。入場無料です。

- 大人向け 「アランドロンのゾロ」 1974年作品
■日時 7月7日(土) 午後1時30分～3時40分
- 子ども向け 「恐竜大進撃」 2006年作品
■日時 7月21日(土) 午後1時30分～2時10分
- 大人向け 「ぼくとママの黄色い自転車」 2009年作品
■日時 7月18日(水) 午後6時30分～8時10分

E 催し案内

- 夏のおはなし会
■日時 7月14日(土) 午前11時～正午
■会場 おはなしの小屋
■対象 3歳～小学生低学年
- おはなし会
■日時 7月28日(土) 午前11時～11時30分
■会場 おはなしの小屋
■対象 3歳～小学生低学年

E 本の展示

毎月、季節に合わせた本を展示しています。

- 大人の本 「夏を楽しもう」
- 子どもの本 「夏休み」「自由研究」

◎市立図書館 ▶開館時間 平日10:00～20:00
☎3250 土・日・祝日9:30～18:00
▶休館日 月曜日、第1水曜日
(ただし、祝日の場合は開館し、翌日は休館)

◎表郷図書館 ▶開館時間 10:00～18:00
☎4784 ▶休館日 祝日、火曜日、第1水曜日
《おはなし、よんで! (0歳～小学生対象)》
■日時 毎週土曜日/随時

◎大信図書館 ▶開館時間 10:00～18:00
☎3614 ▶休館日 月曜日、祝日の翌日
《絵で見るお話の会》
■日時 7月28日(土)/午前11時～正午

◎東図書館 ▶開館時間 10:00～18:00
☎1130 ▶休館日 祝日、火曜日、月末日
《図書館であそぼう!》
■日時 7月13日(金)・20日(金)/午前10時～午後4時
■対象 家族と同伴の0歳～小学2年生

図書館からお知らせ
Information

開館一周年記念講演会

市立図書館は、7月24日に開館一周年を迎えます。本市生まれの作家で、小説「化身」が日本ホラー小説大賞(2009年)を受賞した、宮ノ川顕さんを迎え、創作にまつわるエピソードや、白河の思い出などをお話していただきます。

- 日時 7月29日(日) / 午後1時30分開演
- 会場 地域交流会議室(多目的ホール)
- 内容 講演「小説と私～バブル経済崩壊と作家デビューの頃～」、トークイベント、サイン会
- 定員 200人

※入場は無料ですが、整理券が必要です。整理券は7月11日(水)から各図書館で、開館時間中に配布します(休館日を除く)。配布は先着順で一人2枚までです。

▶宮ノ川顕さんプロフィール
1962年白河市生まれ。神奈川県で育つ。2009年に第16回日本ホラー小説大賞を受賞。日本大学卒業後、会社員を経て、茨城県石岡市で自転車競技や釣りなどのウエアを作る自営業をしながら執筆し、現在に至る。著作として「化身」「おとうとの木」「斬首刀」などがある。

手づくり絵本教室

- 日時 8月2日(木)・3日(金) / 午前10時15分～正午
- 会場 地域交流エリア小会議室1・2
- 対象 小学生15人 ※はさみを使います。
- 参加費 500円(当日に集めます)
- 申し込み 7月29日(日)までにこどもサービスデスクでお申し込みください(先着順)。

ホームページアドレス
http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/
☎=問い合わせ先
内=内線番号
◇本庁舎 八幡小路7-1 ☎21111/Fax272577
◇表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎32111/Fax322234
◇大信庁舎 大信増見字北田58 ☎462111/Fax462409
◇東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎342111/Fax343584

募集

白河地方広域市町村圏整備組 合消防吏員採用試験

- 〔平成25年度採用〕
- 職種・採用予定人員 消防業務に従事する消防吏員 9人程度
- 資格 昭和58年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた方(学歴・性別不問)
- 試験方法 ▽第一次試験Ⅱ 教養試験・消防適性検査 ▽第二次試験Ⅱ 身体検査・体力検査・口述試験・作文

第3回白河まちなか逸品めぐりツアー

- 日時 7月27日(金)／午前11時～午後2時
- 定員 16人 ※先着順
- 参加料 1,000円(昼食・軽食代込み)
- 募集期限 7月24日(火)まで ※コースは当日発表します。
- 申し込み・問い合わせ先 白河商工会議所 ☎23101
- 日時 8月4日(土)／午後1時 大信庁舎発

案内

証明書のコンビニ交付開始

7月9日(月)から、住民票の写し、印鑑登録証明書、所得課税証明書、戸籍事項証明書が全国のセブン・イレブンで取得できます。
※取得には「住基カード」が必要ですが、詳しくはお問い合わせください。
☎本庁舎市民課 内2158

認知症講演会

- 日時 7月22日(日)／午後2時から ※入場無料
- 会場 東文化センター(東釜子)

「り災証明」申請受付終了

東日本大震災で被災した家屋の「り災証明書」について、建物被害認定調査を伴う申請の受け付けは、7月31日(火)で終了します。
なお、再発行は今後も継続します。
☎市災害対策本部(本庁舎生活環境課内) 内2166

Shirakawa Week 14days

- 日時 7月30日(月)～8月12日(日)／午前10時～午後4時
- 会場 マイタウン白河(本町)
- 内容 大学生が市内の小学生から高校生を対象に、夏休みの課題を含む学習支援や進路相談を行います(交流イベントもあります)。
☎Shirakawa Week実行委員会(しらかわ市民活動支援会内) ☎37595

市民プールオープン

- 期間 7月21日(土)～8月26日(日) ※除染作業を進めていますが、オープン日を変更する場合があります。詳しくはお問い合わせください。
- 時間 ①午前9時～11時 ②正午～午後2時 ③午後2時30分～4時30分
- 《総合運動公園市民プール》
- 料金 ▽大人 100円 ▽高校生 50円 ▽小・中学生 20円 ※幼児用プール・25mプールのみ使用できます。
- ☎中央体育館 ☎28971
- 《表郷小学校プール》
- 料金 ▽大人 100円

▽中・高校生 50円

- ☎表郷教育振興課 ☎4782
- 《大信総合運動公園プール》
- 料金 ▽大人 100円 ▽高校生 50円 ▽小・中学生 20円
- ☎大信教育振興課 ☎463976
- 《東風の台運動公園ふれあいプール》
- 料金 ▽中学生以上 100円 ▽小学生 50円
- ☎東教育振興課 ☎343146
- 日時 7月25日(水)／午後1時30分から ※入場無料
- 会場 県南保健福祉事務所(郭内)
- 内容 ▽講演「わたがの会

ひきこもり講演会

の取組みとひきこもり支援」の講師 NPO法人わたがの会 秋田敦子理事長
●申し込み・問い合わせ先 県南保健福祉事務所 ☎25649

ひとり親家庭医療費更新申請書および児童扶養手当現況届

ひとり親家庭医療費および児童扶養手当を受給されている方は、毎年(一回)、ひとり親家庭医療費更新申請書および児童扶養手当現況届を提出する必要があります。提出がない場合、引き続き医療費の助成や手当てを受けることができませので、必ず提出してください。
受給されている方には、申

第2期福島県文化振興基金助成事業

県では、県民の文化活動支援を目的に8月1日から11月30日までに行う次の事業を対象に、助成申請を受け付けています。
●対象事業 ①広く県民に公開する文化活動の成果発表事業(美術展、音楽会、演劇などの公演や文芸誌出版など)
②発表会や公的機関から招へいされて参加する事業など
●対象者 県内に住所または活動の本拠を有する個人(県外在住の県出身者も含む)または団体
●受付期限 7月25日(水)まで
☎本庁舎生涯学習スポーツ課 内2384

行政改革推進委員会委員募集

市では、行政改革の方向性や行政改革実施計画の進捗状況に関して広く市民の視点からご意見をいただくため、新たな行政改革推進委員会委員を次のとおり募集します(任期は2年です)。

- 内容 行政改革の実施状況等について適宜報告を受け、これに対して市民の視点から必要な意見を述べる。
- 応募資格 ①平成24年8月22日現在、市内に住所を有する方 ②平成24年3月31日時点で18歳に達して、平成25年3月31日までに75歳に達しない方 ③行政改革に関心がある方 ④平日の昼間に開催する会議に出席できる方 ⑤市の各種審議会等の委員の兼職が3件未満である方 ※国または地方公共団体の議員または公務員は除きます。
- 募集人員 2人
- 応募方法 次の書類を持参または郵送(当日消印有効)・FAX・Eメールで提出してください。 ①応募申込書(指定様式) ②小論文のテーマ「行政改革に関する私の考え」(800字程度) ※応募申込書は、本庁舎総務課、総合案内および各庁舎総務課に準備してあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。
- 応募期限 7月31日(火)まで
- 選考方法 選考委員会で決定します。結果は応募者全員にお知らせします。なお、応募書類等は返却しません。
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎総務課 内2316 / FAX272577 / Eメール somu@city.shirakawa.fukushima.jp

案内

県南都市計画下水道 の変更に係る公聴会

- 日時 8月3日(金)／午前10時から
- 会場 白河合同庁舎302会議室(昭和町)
- 公聴会に係る都市計画案の縦覧
 - 日時 7月13日(金)～27日(金)／午前8時30分～午後5時(平日のみ)
 - 会場 本庁舎都市計画課、県南建設事務所企画調査課(白河合同庁舎)、県庁都市計画課(福島県庁)
- 公述の申し出 計画案にご

意見がある方は、公述人(公聴会に出席して意見を述べる人)として、7月27日(金)までに、住所・氏名、意見を述べようとする理由、意見の要旨を書面に記載し、公述の申し出を行ってください。

※公述人の資格は、県南都市計画区域内の住民に限ります。

●本庁舎都市計画課 内2282 / 県南建設事務所企画調査課 ☎231617

「平和の鐘(かね・おと)を鳴らそう!」運動

- 日時 7月19日(木)／正午
- 会場 ホテルサンルート白河(新白河駅前)
- 内容 ユネスコは、戦争を二度と起こさないため、人の心の中に平和の響を築こうと活動しています。平和を祈り、平和について考える機会として、市内のお寺で鐘を鳴らします。
- 日時 7月19日(木)／正午
- 会場 本庁舎生活環境課 内2162
- 日時 7月19日(木)／正午
- 会場 本庁舎生活環境課 内2162

夏の交通事故防止 県民総ぐるみ運動

▷期間 7月16日(祝)～25日(水)

▷スローガン 「車にも 乗せようマナーと 思いやり」

▷運動の基本 子どもと高齢者の交通事故防止

※この時期には、夏季特有の暑さや行楽等による疲労から、交通事故の多発が予想されます。無理をしない思いやり運転に心掛けましょう。

●本庁舎生活環境課 内2162



市長の
手控え帖
白河市長
鈴木 和夫

『白河と会津の縁』

今年、ロンドン五輪の年です。白河高校を卒業し、白河を拠点に活躍している新田祐大さんが自転車競技の代表となった。会津若松生まれで、自転車に憧れレベルの高い白河に移り住んだとのこと。ご自身もオリンピック選手だった名伯楽、班目秀雄さんの指導を受け、着々と力をつけてきた。師は言う。「彼はきらめく才能を持っているわけではない。しかし努力する天才だ」。目標に向かい、長く苦しい道を、強い意志を保ち続け歩むことは難しい。ウサギとカメの寓話どおり。歩みはのろくとも、たゆまずに確かな足跡を刻む者に女神は微笑む。実物の新田さんはきりっとした目のイケメンでした。ロンドンの大舞台でさわやかな一陣の風を吹かせてください。

戊辰の風を吹かせてください。そのふもとに会津藩士の墓と慰霊碑がある。長いこと七・九番町の方々が墓守りをし、毎年6月第一日曜、無念の死をとげた士の霊を弔っている。大地震で被害を受けた碑も自分たちで修復した。立派なものです。東京の会津会や会津弔霊義会の代表に加え、今年には会津若松市長も参列された。会津での殉難祭にも代表者が参列し交流しているとのこと。白河と会津の縁は深い。道をはさみ向かい側には、遠い異郷に眠る長州・大垣藩士の墓があり、同じく霊をなぐさめている。今、二つの墓は恩讐を超

まちかど伝言板

東国原英夫氏講演会

- 日時 7月18日(水)／午後6時開演
- 会場 ホテルサンルート白河(新白河駅前)
- 内容 講演「ピンチをチャンスに」福島もどげんかせんといかん」▽講師 東国原英夫氏(前宮崎県知事)
- 入場料 無料(入場には整理券が必要です。FAXでお申し込みください)。
- 申し込み・問い合わせ先 (社)白河法人会 ☎232160 / FAX 232163

安珍堂災害復旧に伴う寄附のお願い

安珍堂災害復旧建設委員会では、東日本大震災で全壊した安珍堂(萱根)を一日でも

早く再建するため、建設資金の寄附を募っています。趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします(寄附金は指定の口座にお振り込みください)。

- 寄附金の振込先 白河信用金庫本店 普通預金 1217502 / 東邦銀行白河支店 普通預金 1337763
- 口座名義人 安珍堂災害復旧建設委員会 会長 土文字忠一
- 同委員会 ☎27331

白い風いきいきスポーツクラブ参加者募集

- 日時 7月11日・18日、8月8日・22日、9月5日・12日 水曜日／午後3時～5時
- 会場 中央体育館(北中川原)
- 対象 どなたでも参加可能
- スポーツキッズ育成教室
- 日時・会場 フィットネスボディメイク教室と同じ
- 対象 幼稚園年長組・小学生2年生
- 日時 7月21日・28日、8月11日・18日、9月8日・22日

しらかわ福祉まつり

- 日時 7月29日(日)／午前10時～午後2時
- 会場 すばく白河(北中川原)
- 内容 ダルライザーショー、消防はしご車、介護体験など
- 社会福祉協議会 ☎231159

えるかのように静かにたたずんでいる。

来年のNHK大河ドラマは「八重の桜」。貞淑で家に仕えるのがあたり前とされたモラルを、軽々と超え烈しく生きた女性の生涯を描く。鶴ヶ城に立て籠もり、自ら銃を手に戦う。会津のジャンヌ・ダルク。敗戦の虚脱の中、場所を兄のいる京都に移し再出陣する。空虚さを埋めるような新島襄との出会い。夫を助け、ときに尻に敷き、同志社大学の創立に心血を注ぐ。男尊女卑の風潮の中、徹底して平等を説き実践する。燃えたぎる炎は、日清・日露戦に自ら志願し看護婦として赴いたという。いやはや大した女性がいたものです。

戊辰の会津は西軍の最大の標的。「鶴ヶ城と白虎隊の悲劇」に象徴されるが、これでは全体像は見えない。軍事的に重要な戦いは越後長岡と奥州白河。会津は雄雄が決した後の籠城とゲリラ戦。長岡は、河井継之助という傑物を司馬遼太郎が「峠」に書き世に知られている。白河は東西両軍が対峙し、千人を超すほどの死傷者が出た戦闘にもかかわらず、歴史の底に埋もれてしまった。誠に残念です。この旨をプロデューサーに話したところ、同様の考えを示された。明治の幕を明ける白河での激突が放映されます。期待しましょう。

小峰城の西側に広がる会津町。白河も領地としていた会津の蒲生家が改易となり、多くの浪人が出た。棚倉から白河に移ってきた丹羽長重が、これらの家臣を召し抱えたこと。白河には、今でも会津にゆかりのある方が少なからず住み、「あいづ」の名で商いをしている店もある。

会津若松の中心から五つの街道がのびる。白河・二本松・越後・下野・米沢街道。白河街道は奥州街道を経て江戸につながる重要な道。今の国道294号がこれにあたる。湖南・長沼・天栄・大信を経て白河へ。街道の名残りは今もある。三菱ガス化学の工場用地造成が始まった一角に、石畳の跡がある。また飯土用・滑里川の間には往時の記憶をとどめる一里塚がある。上小屋には各戸に屋号がつき、宿場の面影を残している。会津武士は勇みこの道を白河に急ぎ、肩を落とし故郷へ戻った。会津の総督は西郷頼母。会津藩が火の粉を浴びる姿を見越してか、藩主・容保の京都守護職への就任に反対。藩内の冷たい目にさらされ、白河敗退の責任も追及された。辱し目をうけまいと夫人・娘ら一族は自刃。明治に入っても、朝敵会津の元家老に対する世間の風当たりは強い。棚倉都々古別神社や、日光東照宮の宮司として孤に耐えた。

5年余り前、稲荷山に頼母の「蝸牛の歌」の碑が建った。頼母の研究者で、白坂に工場のある中央精機の堀田節夫会長の情熱によるもの。己の境遇を顧みて、身を隠すことのできるカタツムリがうらやましいと、苦しい心のうちを歌う。

晩年白河を越える折二人はこう詠んだ。八重「老いぬれど 又も超えなん白河の関のとざしは よし難くとも」。

頼母「旅にねし むかしの夢のあととへば うらみを知るや 白河の関」。万感の思いを込め会津へ向かった。

司馬遼太郎も名著「街道をゆく」シリーズで、白河・会津のみちを書いている。歴史的な縁を大事にし、共に競いあいながら誇れる郷土をつくっていききたいと思えます。

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業が立地し、ここでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。

リレー形式で、市内の企業やものづくり・人づくりについて紹介しています。

市内企業の
ものづくり・人づくりを紹介！
企業の
ちから

No 3 The company in Shirakawa

アズビル金門白河株
AZBIL KINMON SHIRAKAWA CORPORATION

住 所：表郷深渡戸字大山11-16
生産品目：LP・都市ガスメーター、
レギュレータ、ガス漏れ警報器など

人を中心としたオートメーション
人々の「安全・快適・達成感」を実現。



- ① LPガスメーターは小型・軽量モデルで、最新のモータ式遮断弁やマイコンを搭載
- ② 社屋内、敷地内は清掃が徹底されゴミがなく清潔に保たれています
- ③ グリーンキャンペーン。献血、募金やクラブ活動も盛んです
- ④ 3年前に植えられた河津桜。多くの桜が咲いた際に「桜祭り」を計画しています
- ⑤ 大流量試験設備。コンピュータで試験できる国内唯一の設備です
- ⑥ 社長の松井博幸さん（左）と総務部次長の飛知和昌俊さん

「私たちの会社は、ガスメーターの供給を通しインフラ整備の一翼を担っています。また、メーターに搭載されている保安機能によりお客様に安全・安心をお届けしています」と話す総務部次長の飛知和昌俊さん。

アズビル金門白河は、家庭用から工業用まであらゆる用途に合わせたガスメーターを一貫して生産しています。それらのガスメーターは使用量を積算する機能のほか、ガスの流量を監視し、消し忘れや地震発生時に遮断するマイコンを搭載するなど、高度な機能を持っています。

昭和38年に古高山にてダイカスト工場として操業し、昭和43年にはLPガスメーター生産を開始。生産拡大に伴い、平成4年に現在の表郷に移転しました。平成16年にはアズビル金門の連結子会社となり、今年4月にはアズビル金門白河に社名を変更しました。

敷地面積は約8万2千㎡、家庭用LPガスメーターの生産能力は月5万台を誇り、計量器のパイオニアとして、適正な計量と保安機能による安全面や事故防止に大きく貢献してきました。

「地元で根ざした企業として、安全・安心を提供する計量器を作ることが最も大切です。多くの皆さんに信頼される日本一の計量器メーカーを目指します」と社長の松井博幸さんは瞳を輝かせました。

白河市民への愛がいっぱい

全国から白河市に多くの義援金・寄附金が届きました。ここでは、5月18日から6月13日までの提供者をご紹介します。義援金・寄附金は、被災者の支援と本市の復興のため、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

振込された方については、カタカナで表記させていただきます。6月14日以降の義援金・寄附金については次号でお伝えします。

- (株)若林商店 様
- 不二家川島ベシア店 (有)マルタ商会 田崎徹也) 様
- (株)光陽社どんぐり会 様
- 山口ユリ 様
- 花園会 様
- (株)ウェーブクレスト長浜工場 遠藤大輔 様
- 創作話食「楽庵」 様
- 金子美代子 様
- 個性心理学研究所ブリリアントリーディング支局 様
- 近藤ファミリー&グリーンファーム 様

《仮設住宅等支援者をご紹介します (5月22日～6月21日)》

- 栃木ボランティアネットワーク 様
- 日本カイロプラクターズ協会 様
- 明日飛子ども自立の里 様
- とちぎYMCA 様
- 青空市場 様

コンセントをごまめに抜こう
白河市はチャレンジ25キャンペーンに参加しています。



「広報白河」は再生紙を使用しています。